

「切除不能で、根治的X線治療施行が困難と判断されたⅢ期非小細胞肺癌に対する化学陽子線治療と、化学療法単独療法の治療成績の遡及的比較検討」に関する研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター東病院で2011年1月から2016年1月までの間に切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌と診断され、根治的陽子線治療あるいは化学療法単独の治療が実施された患者さんを対象といたします。

2. 研究目的・方法

切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌の患者さんの中には、通常のX線治療では、脊髄や正常肺に対する線量が耐用線量を超えるため、化学療法だけで治療されることがあります。陽子線はその線量分布の特性により、正常組織への線量を減らすことが可能であり、X線で治療できないと判断されたⅢ期非小細胞肺癌患者さんが今後陽子線治療を受ける機会は増えると予想されます。ただし、陽子線治療は比較的新しい治療法であり、化学療法だけで治療された患者さんとの治療成績の比較が必要です。この研究は、当院で陽子線治療あるいは化学療法単独の治療をお受けになった患者さんの治療成績を、診療カルテ情報を用いて振り返る研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

国立がん研究センター東病院で2011年1月から2016年1月までの間に切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌と診断され、根治的陽子線治療あるいは化学療法単独の治療が実施された患者さんを対象といたします。

利用する情報は、年齢、性別、病期、その進展程度、行われた放射線治療とその効果、線量分布、併用された治療、副作用、予後に関する情報となります。

4. 試料・情報の公表

研究成果は学会や学術雑誌などでの発表を予定しています。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-0882 柏市柏の葉6丁目5番1号

国立がん研究センター東病院 茂木 厚

TEL 04-7133-1111 FAX 04-7131-9960

研究責任者：国立がん研究センター東病院 放射線治療科 茂木 厚